

状況調査書
（鉄筋コンクリート造・共同住宅・1住戸）

（基本情報）

検査対象住宅	（住宅所有者）			
	（所在地）			
検査依頼主	（会社名・担当者）			
現況検査立会者	（会社名・担当者）			
構造	■RC造	階数	地上 階、地下 階	
建築時期	□S、□H、□R 年	延床面積	. m ²	

検査者 氏名		印	
建築士	建築士資格	（ ）登録	第 号
	建築士事務所	建築士事務所 （ ）知事登録	第 号
	建築士事務所名		
	建築士事務所住所		
受講したインスペクションに関する講習		講習名	講習団体
現況検査日時		令和 年 月 日（天候 ）	
		： ～ ：	
検査の結果		劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	

（工事履歴）※長期優良住宅維持保全計画申請時の場合

申請住宅の新築以降増改築の有無	□ 有り □ 無し
増改築が有りの場合	
新築・増改築の時期	工事の内容

(目次)

	頁	部位	
A 外部	1	【1】	バルコニー（構造）
	2	【2】	外壁（構造・雨水）
	3	【3】	柱・梁（構造）（A外部）
B 内部	4	【4】	柱・梁（構造）（B内部）
	5	【5】	内壁（構造）
	6	【5】	内壁（雨水）
	6	【6】	天井（雨水）
	7	【7】	設備配管【給水・給湯管】
	7	【7】	設備配管【排水管】
	7	【7】	設備配管【換気ダクト】
C オプション	8		オプション
	9		オプション検査 基礎
	9		オプション検査 屋根・ルーフバルコニー
	10		オプション検査 床
	10		オプション検査 天井

※確認の程度の区分の凡例（第3面以降の確認欄の凡例）

①

「すべてまたはほとんどが確認できた」

②

「過半の部分が確認できた」

③

「過半の部分が確認できなかった」

④

「ほとんど確認できなかった」

⑤

「まったく確認できなかった」

⑥

「点検口等から目視可能な範囲で確認できた」

・・・

9割以上

・・・

5割以上9割未満

・・・

1割以上5割未満

・・・

1割未満

・・・

0割

部位等		【1】バルコニー（構造）		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	A 外部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【構造】支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化（さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）	☐ア 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化等が確認されない ☐イ 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化等が確認される
		現況検査できなかった箇所 () 理由 ()		a. 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化が確認された場所 ()
備考				

検査の結果	【2】外壁 (構造)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)	【2】外壁 (雨水)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)
-------	---------------	---	---------------	---

部位等		【2】外壁（構造）		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	A外部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	仕上げの種類の確認	□ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ（Ⅰに記入） □イ タイル仕上げ（湿式工法）又は塗壁仕上げ等（Ⅱに記入）
		現況検査できなかった箇所 （ ） 理由 （ ）	Ⅰ．コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合	
			(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ	□ア ひび割れが確認されない □イ ひび割れが確認される（下表に記入）
				a. ひび割れが確認された場所 （ ）
				b. 最大のひび割れ幅 （ ）mm
			(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損	□ア 欠損が確認されない □イ 欠損が確認される（下表に記入）
				a. 欠損が確認された場所 （ ）
				b. 最大欠損の深さ （ ）mm
			(3) 【構造】コンクリートの著しい劣化	□ア 著しい劣化が確認されない □イ 著しい劣化が確認される（下表に記入）
				a. 著しい劣化が確認された場所 （ ）
				b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 □ア ない □イ ある C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 □ア ない □イ ある
		(4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	□ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない □イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入）	
			a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 （ ）	
		(5) 【構造】鉄筋の露出	□ア 鉄筋の露出が確認されない □イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入）	
			a. 鉄筋の露出が確認された場所 （ ）	
		Ⅱ．タイル仕上げ（湿式工法）又は塗壁仕上げ等の場合		
		(1) 【構造】下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落（乾式仕上、タイル仕上（湿式工法）の場合）	□ア 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認されない □イ 上記の劣化事象等が確認される（下表に記入）	
			a. ひび割れ等が確認された場所 （ ）	
			b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ （ ）mm	
			(2) 【構造】複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損	□ア 複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損が確認されない □イ 上記の劣化事象等が確認される（下表に記入）
	a. ひび割れ等が確認された場所 （ ）			
	b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ （ ）mm			
	Ⅱ．タイル仕上げ（湿式工法）の場合			
	(4) 【構造】仕上げ材の著しい浮き（乾式仕上げ以外の場合）	□ア 仕上げ材の著しい浮きが確認されない □イ 仕上げ材の著しい浮きが確認される（下表に記入）		
		a. 著しい浮きが確認された場所 （ ）		
【2】外壁（雨水）				
	確認欄※	検査項目	確認内容	
	現況検査できなかった箇所 （ ） 理由 （ ）	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	仕上げの種類の確認	【2】外壁（構造）に記入
		(1) 【雨水】シーリング材や防水層の破断、欠損	□ア シーリング材や防水層の破断、欠損が確認されない □イ シーリング材や防水層の破断、欠損が確認される（下表に記入）	
			a. シーリング材や防水層の破断、欠損が確認された場所 （ ）	
			(2) 【雨水】屋外に面する建具や建具廻りの隙間や破損、建具廻りのシーリング材の破断、開閉不良	□ア 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認されない □イ 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認される（下表に記入）
		a. 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認された場所 （ ）		
		(3) 【雨水】建具廻りのシーリング材の破断・	□ア 建具廻りのシーリング材の破断が確認されない □イ 建具廻りのシーリング材の破断が確認される（下表に記入）	
			a. 建具廻りのシーリング材の破断が確認された場所 （ ）	

検査の結果	【3】 柱・梁 (構造) (A外部)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)		
-------	-----------------------	---	--	--

部位等		【3】 柱・梁（構造）（A外部）			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
	A外部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【構造】 著しいひび割れ、劣化又は欠損（さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）	□ア ひび割れが確認されない □イ ひび割れが確認される（下表に記入） a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 () mm	
		現況検査できなかった箇所 ()		□ア 欠損が確認されない □イ 欠損が確認される（下表に記入） a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm	
		理由 ()		□ア 著しい劣化が確認されない □イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 □ア ない □イ ある C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 □ア ない □イ ある	
				□ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない □イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される (下表に記入) a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()	
				□ア 鉄筋の露出が確認されない □イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()	
				□ア 柱の著しい傾斜が確認されない □イ 柱の著しい傾斜が確認される（下表に記入） a. 最も傾きがある場所 () b. 当該部分の傾斜 (/ 1,000)	
備考					

検査の結果	【4】柱・梁 (構造) (B内部)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)		
-------	----------------------	---	--	--

部位等		【4】柱・梁（構造）（B内部）			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
	B内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損（さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）	☐ア ひび割れが確認されない ☐イ ひび割れが確認される（下表に記入） a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 () mm	
		現況検査できなかった箇所 () 理由 ()		☐ア 欠損が確認されない ☐イ 欠損が確認される（下表に記入） a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm ☐ア 著しい劣化が確認されない ☐イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ア ない ☐イ ある C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ア ない ☐イ ある ☐ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される (下表に記入) a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 () ☐ア 鉄筋の露出が確認されない ☐イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()	
	(2) 【構造】柱の著しい傾斜	☐ア 柱の著しい傾斜が確認されない ☐イ 柱の著しい傾斜が確認される（下表に記入） a. 最も傾きがある場所 () b. 当該部分の傾斜 (/ 1,000)			
備考					

検査の結果	【5】 内壁（構造）	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）		
-------	------------	---	--	--

部位等		【5】 内壁（構造）			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
	B内部	現況検査できなかった箇所 （ ） 理由 （ ） ※仕上げの種類で「イ その他仕上げ等」を選択した場合は、仕上げの種類を記入の上で、躯体の状況が確認できなかった理由を記入する	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	仕上げの確認	☐ ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ（Iに記入） ☐ イ その他仕上げ等
			I. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合		
			（1） 【構造】 幅0.5mm以上のひび割れ	☐ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される（下表に記入）	
				a. ひび割れが確認された場所 （ ）	
				b. 最大のひび割れ幅 （ ）mm	
			（2） 【構造】 深さ20mm以上の欠損	☐ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される（下表に記入）	
				a. 欠損が確認された場所 （ ）	
				b. 最大欠損の深さ （ ）mm	
			（3） 【構造】 コンクリートの著しい劣化	☐ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される（下表に記入）	
a. 著しい劣化が確認された場所 （ ）					
b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある					
C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある					
（4） 【構造】 さび汁を伴うひび割れ又は欠損	☐ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入）				
	a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 （ ）				
（5） 【構造】 鉄筋の露出	☐ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入）				
		a. 鉄筋の露出が確認された場所 （ ）			
備考					

検査の結果	【5】内壁 (雨水)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)	【6】天井 (雨水)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)
-------	---------------	---	---------------	---

部位等		【5】 内壁（雨水）			
劣化状況	A 外部 B 内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
	B 内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	(1) 【雨水】 内壁の雨漏りの跡	☐ア 内壁の雨漏りの跡が確認されない ☐イ 内壁の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） a. 内壁の雨漏りの跡が確認された場所 ()	
		【6】 天井（雨水）			
		確認欄※	検査項目	確認内容	
		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	(1) 【雨水】 天井の雨漏りの跡	☐ア 天井の雨漏りの跡が確認されない ☐イ 天井の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） a. 天井の雨漏りの跡が確認された場所 ()	
備考					

検査の結果	【7】設備配管	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）		
-------	---------	---	--	--

部位等		【7】設備配管【給水・給湯管】					
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容			
	B内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	(1) 【設備配管】給水管、給湯管の発錆による赤水	☐ ア 発錆による赤水が確認されない	☐イ 発錆による赤水が確認される（下表に記入） a. 発錆による赤水が確認された場所 ()		
		現況検査できなかった箇所 ()	(2) 【設備配管】給水管、給湯管からの漏水	☐ ア 漏水が確認されない	☐イ 漏水が確認される（下表に記入） a. 漏水が確認された場所 ()		
		理由 ()					
		【7】設備配管【排水管】					
				確認欄※	検査項目	確認内容	
		B内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	(1) 【設備配管】排水の滞留	☐ ア 排水の滞留が確認されない	☐イ 排水の滞留が確認される（下表に記入） a. 排水の滞留が確認された場所 ()	
現況検査できなかった箇所 ()	(2) 【設備配管】排水管の漏水		☐ ア 排水管の漏水が確認されない	☐イ 排水管の漏水が確認される（下表に記入） a. 漏水が確認された場所 ()			
理由 ()							
【7】設備配管【換気ダクト】							
			確認欄※	検査項目	確認内容		
		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	(1) 【設備配管】換気ダクトの脱落	☐ ア 換気ダクトの脱落が確認されない	☐イ 換気ダクトの脱落が確認される（下表に記入） a. 換気ダクトの脱落が確認された場所 ()		
現況検査できなかった箇所 ()							
理由 ()							

オプション				
	A外部 B内部	検査の有無	検査項目	確認内容
劣化状況	A 外部	☐ 検査あり	(1) 非破壊検査機器を用いた検査 (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される(下表に記入) a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()
		☐ 検査あり	(1) 申込み住宅のキッチンコンロ、換気扇やパッケージエアコン等の設備機器の作動不良等の検査 (検査内容) ()	☐ ア 作動不良が確認されない ☐ イ 作動不良が確認される(下表に記入) a. 作動不良が確認された場所 () b. 作動不良の状況 ()
				☐ ア 作動不良が確認されない ☐ イ 作動不良が確認される(下表に記入) a. 作動不良が確認された場所 () b. 作動不良の状況 ()
	☐ ア 汚損が確認されない ☐ イ 汚損が確認される(下表に記入) a. 汚損が確認された場所 () b. 汚損の状態 ()			
	B 内部	☐ 検査あり	(2) 申込み住宅の給排水設備、電気設備、ガス設備 (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される(下表に記入) a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()
		☐ 検査あり	(3) 申込み住宅の汚損等、清掃により解消可能なものの検査 (検査内容) ()	☐ ア 汚損が確認されない ☐ イ 汚損が確認される(下表に記入) a. 汚損が確認された場所 () b. 汚損の状態 ()
		☐ 検査あり	(4) 非破壊検査機器を用いた検査 (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される(下表に記入) a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()
	圧縮強度	☐ 検査あり コンクリートの圧縮強度	(1) 【構造】コンクリートの圧縮強度	☐ ア コンクリートの圧縮強度が確認できない ☐ イ コンクリートの圧縮強度が確認できる(下表に記入) a. コンクリートの圧縮強度を確認した場所 ()
				☐ ア 反発度 a. 測定値 ()
				☐ ア 立ち上がり補強筋間隔が@300以内、または設計図書以内 a. 補強筋間隔 (@ mm) ☐ イ 補強筋間隔が@300以上、または設計図書以上(下表に記入) b. 補強筋間隔が適切ではない場所 ()
	鉄筋探査	☐ 検査あり 非破壊検査機器による検査【鉄筋の本数及び間隔】	(1) 基礎における鉄筋の本数及び間隔 (検査位置) ()	☐ ア 底版補強筋間隔が@300以内、または設計図書以内 a. 補強筋間隔 (@ mm) ☐ イ 補強筋間隔が@300以上、または設計図書以上(下表に記入) b. 補強筋間隔が適切ではない場所 ()
備考				

検査の結果	オプション検査 基礎	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）	オプション検査 屋根 ルーフバルコニー（雨水）	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）
-------	------------	---	----------------------------	---

部位等		オプション検査 基礎					
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容			
	Cオプション	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ	☐ア ひび割れが確認されない ☐イ ひび割れが確認される（下表に記入） <table><tr><td>a. ひび割れが確認された場所 ()</td></tr><tr><td>b. 最大のひび割れ幅 () mm</td></tr></table>	a. ひび割れが確認された場所 ()	b. 最大のひび割れ幅 () mm	
			a. ひび割れが確認された場所 ()				
			b. 最大のひび割れ幅 () mm				
			(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損	☐ア 欠損が確認されない ☐イ 欠損が確認される（下表に記入） <table><tr><td>a. 欠損が確認された場所 ()</td></tr><tr><td>b. 最大欠損の深さ () mm</td></tr></table>	a. 欠損が確認された場所 ()	b. 最大欠損の深さ () mm	
			a. 欠損が確認された場所 ()				
			b. 最大欠損の深さ () mm				
			(3) 【構造】コンクリートの著しい劣化	☐ア 著しい劣化が確認されない ☐イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） <table><tr><td>a. 著しい劣化が確認された場所 ()</td></tr><tr><td>b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ア ない ☐イ ある</td></tr><tr><td>C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ア ない ☐イ ある</td></tr></table>	a. 著しい劣化が確認された場所 ()	b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある	C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある
			a. 著しい劣化が確認された場所 ()				
			b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある				
C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある							
(4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	☐ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） <table><tr><td>a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()</td></tr></table>	a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()					
a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()							
(5) 【構造】鉄筋の露出	☐ア 鉄筋の露出が確認されない ☐イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） <table><tr><td>a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()</td></tr></table>	a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()					
a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()							
オプション検査 屋根・ルーフバルコニー（雨水）							
確認欄※	検査項目	確認内容					
	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	(1) 【雨水】防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合	☐ア 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認されない ☐イ 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認される（下表に記入） <table><tr><td>a. 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 ()</td></tr></table>	a. 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 ()			
		a. 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 ()					
		備考					

検査の結果	オプション検査 床（構造）	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）	オプション検査 天井（構造）	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）
-------	---------------	---	----------------	---

部位等		オプション検査 床（構造）			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
	Cオプション	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損（さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）	☐ア ひび割れが確認されない ☐イ ひび割れが確認される（下表に記入） a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 () mm	
		☐ア 欠損が確認されない ☐イ 欠損が確認される（下表に記入） a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm			
		☐ア 著しい劣化が確認されない ☐イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ア ない ☐イ ある C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ア ない ☐イ ある			
		☐ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()			
		☐ア 鉄筋の露出が確認されない ☐イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()			
		☐ア 著しい傾斜が確認されない ☐イ 著しい傾斜が確認される（下表に記入） a. 最も傾きがある場所 () b. 当該部分の傾斜 (/ 1,000)			
		オプション検査 天井（構造）			
		確認欄※		検査項目	確認内容
	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	仕上げの種類の確認	☐ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ（I に記入） ☐イ その他仕上げ等		
I. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合					
(1) 【構造】コンクリートの著しい劣化		☐ア 著しい劣化が確認されない ☐イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ア ない ☐イ ある C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ア ない ☐イ ある			
		(2) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損（エフロレッセンスを含む）	☐ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()		
			(3) 【構造】鉄筋の露出	☐ア 鉄筋の露出が確認されない ☐イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()	
現況検査できなかった箇所 () 理由 ()					